

令和5年度 学校評価アンケートの集計結果について（報告）

春寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。12月に「学校評価アンケート」へのご協力をお願ひいたしましたところ、ご多用の中を165件のご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。また、全校児童の皆さんにもご協力いただき、アンケートの集計をすることができました。学校ではこのアンケートの結果を職員全体で共有しました。

これらの結果を真摯に受け止め、来年度の学校運営の参考にさせていただき、子どもたちが健やかに成長するよう努力してまいります。

また、2月中旬に行われる軽井沢町学校運営協議会にて、学校運営委員の皆様に、アンケートの結果をさせていただく予定になっております。

今後とも、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちのために取り組んでいけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

【質問1：授業について】

児童（低・高）	授業はわかりやすく、楽しい。			
保護者	お子さんは、授業がわかりやすく楽しいと感じている。			
職員	教材研究をやり分かりやすく楽しい授業を行っている。			

- 1 (できている・満足している・よい)
- 2 (おおむねできている・おおむね満足している・少しそう)
- 3 (あまりできていない・やや不十分である・少し悪い)
- 4 (できていない・努力が必要・悪い)

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	59.0%	29.3%	7.4%	4.3%
児童（高）	38.6%	43.7%	10.1%	7.6%
保護者	20.4%	65.9%	12.6%	1.2%
職員	7.1%	85.7%	7.1%	0.0%



<考察>

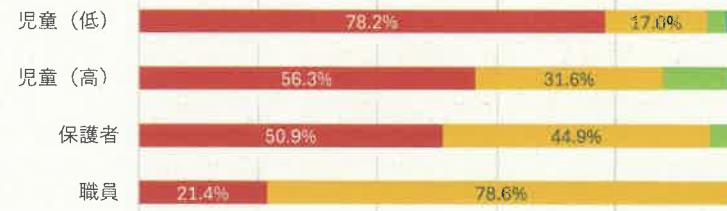
低学年児童の88%、高学年82%が、概ね授業は楽しく分かりやすいと感じている。一方、授業が楽しくなく分かりにくく感じる児童が、高学年になると増加し、保護者も14%が授業の楽しさや分かりやすさに問題を感じている。職員の93%が楽しく分かりやすい授業をめざして工夫しているものの、その効果が児童に反映されないことがうかがえる。この実態を真摯に受け止め、さらなる授業改善に取り組んでいきたい。

【質問2：教科担任制について】

児童（低・高）	いろいろな先生に教わることをいいことだと思っている。			
保護者	教科担任制は、多くの教職員がかかわり児童を支援していくことにつながっている			
職員	教科担任制が、多くの職員がかかわり児童を支援することや、働き方改革につながっている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	78.2%	17.0%	3.2%	1.6%
児童（高）	56.3%	31.6%	10.8%	1.3%
保護者	50.9%	44.9%	4.2%	0.0%
職員	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%



<考察>

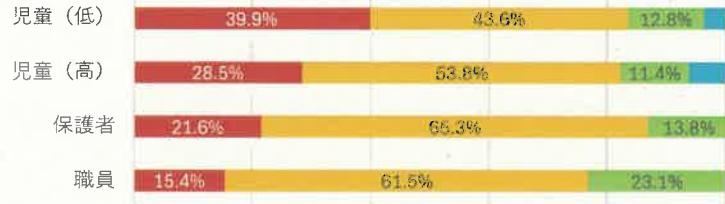
低学年児童の95%、高学年児童の90%がいろいろな先生に教わることをよいことと捉えている。また、保護者の方の96%、職員の100%が教科担任制で多くの職員がかかわり児童を支援することにつながっていると捉えていて、学年等で教科担任制を行っていくことのよさが表れている。今後も、教科担任制を行いながら、教科の専門性を高め、多くの職員がかかわりながら、児童を支援していくようにしていきたい。

【質問3：本年度の重点目標「自律」に関わって】

児童（低・高）	自分の考えをもって進んで学習に参加している。			
保護者	お子さんは、自分の考えをもって、学習や学校生活に取り組んでいる。			
職員	'自律'を意識し、児童一人一人の考え方を大切にした授業を行っている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	39.9%	43.6%	12.8%	3.7%
児童（高）	28.5%	53.8%	11.4%	6.3%
保護者	21.6%	65.3%	13.8%	1.2%
職員	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%



<考察>

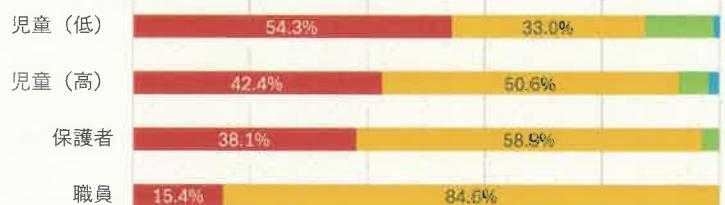
授業や学校生活の様々な場面で、「自律する力」を付けるために、これまでのあたりまえを見直し、子どもたちに任せ、委ね、作る場を多くしてきた。主体的に取り組んだり、自分や自分たちの力で、物事を計画実行したりする姿が見られた。保護者、職員は、まだ感じている部分も多いが、児童が「自分の力でできた」「みんなと協力してできた」という達成感を共に喜び、認めながら、今後も「自律する力」を伸ばしていきたい。

【質問4：本年度の重点目標「共生」に関わって】

児童（低・高）	みんなで決めたことに協力している。			
保護者	お子さんは、互いを尊重し、自分や他者を大切にしている。			
職員	'共生'を意識し、互いを尊重し、児童みんなでつくる授業や活動を大切にしている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	54.3%	33.0%	11.7%	1.1%
児童（高）	42.4%	50.6%	5.1%	1.9%
保護者	38.1%	58.9%	3.0%	0.0%
職員	15.4%	84.6%	0.0%	0.0%



<考察>

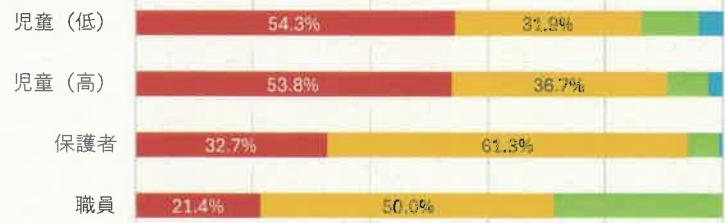
全校で、なかよしグループによる遊びや読み聞かせ、清掃などを計画的に行い、異年齢の友達を理解し、協力する時間を大切にしてきた。また、授業においても、グループ学習や教え合い等の形態を授業に取り入れ、「共生する力」を育んできた。なかよしグループの活動など多くの場面で協力する姿を見ることができた。保護者97%にご理解いただいていることを大きな支えと捉え、今後も「共生」のねらいに向けた取り組みを工夫していきたい。

【質問5：本年度の重点目標である「探究」に関わって】

児童（低・高）	自分の興味や関心のある学習に熱心に取り組んでいる。			
保護者	お子さんは自分の興味や関心のある学習に熱心に取り組んでいる。			
職員	'探究'を意識し個々が自分の興味関心に合わせ、学習できる場や時間をつくるよう心がけている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	54.3%	31.9%	9.6%	4.3%
児童（高）	53.8%	36.7%	7.0%	2.5%
保護者	32.7%	61.3%	5.4%	0.6%
職員	21.4%	50.0%	28.6%	0.0%



<考察>

低学年児童の86%、高学年児童の90%、保護者の94%が自分の興味のある学習に熱心に取り組んでいるという回答を得た。その一方、職員が児童の興味関心に合わせた学習の場や時間を確保しているという評価が低い結果となった。職員は、児童がどのような場面で探究することに夢中になっているのか見極め、学習につなげていく必要があると考えられる。そのため、学習（教科）と結び付けて考えていくような研修をしていきたい。

【質問6：学校は楽しい場所となっているか】

児童（低・高）	学校へ行くのが、楽しい。			
保護者	お子さんは、学校へ行くのが楽しそうだ。			
職員	どの子にも居場所のある温かな学級づくりを大切にしている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	60.6%	25.0%	10.1%	4.3%
児童（高）	39.2%	39.2%	11.4%	10.1%
保護者	48.8%	43.5%	4.8%	3.0%
職員	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%



<考察>

低学年児童の85%、高学年児童の78%、保護者の92%が概ね学校へ行くのが楽しいと感じている一方で、全体の約20%が楽しいとは感じておらず、学校へ登校することに苦痛を感じたり、前向きになれなかつたりしている。「先生とお話しの日」を設定し、個別に相談に乗ったり、保護者の方と懇談させていただいたりしてきたが、改善に向かった児童もそうでない児童もいるのが現状である。これらの事実を受け止め、今後とも児童の悩みや不安を解消できるよう、全職員で丁寧に対応していきたい。

【質問7：いじめや差別はないか】

児童（低・高）	クラスには、いじめや差別がなく過ごせている。			
保護者	学級には、いじめや差別がなく過ごせている。			
職員	いじめや差別が起きないように、きめ細かな指導を行っている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	36.7%	43.1%	11.2%	9.0%
児童（高）	46.2%	40.5%	10.1%	3.2%
保護者	40.5%	54.2%	4.8%	0.6%
職員	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%



<考察>

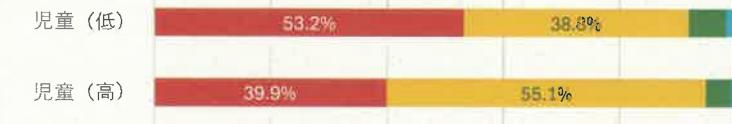
低学年児童の20%、高学年児童の13%、保護者の方の5%、職員の7%が、学級内になんらかのいじめや差別があると感じている。児童にとって、安心して学校に通うことができることは、いじめや差別がなく、誰もが平等にその存在を大切にされるべきものである。いじめや差別につながることが起きた時には、速やかに職員間で共有するとともに、保護者の方へもご連絡し、ご協力を得ながら、悲しい思いをした児童が二度と悲しい思いをしないように指導していきたい。

【質問8：きまりよい生活に関わって】

児童（低・高）	学校のきまりを守り、きまりよい生活ができている。			
---------	--------------------------	--	--	--

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	53.2%	38.8%	6.4%	1.6%
児童（高）	39.9%	55.1%	4.4%	0.6%



<考察>

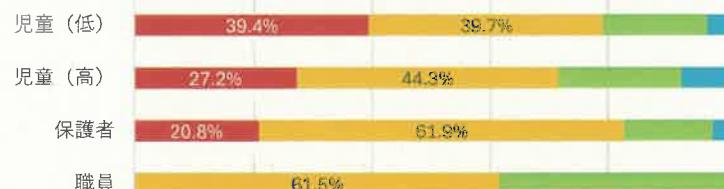
低・高学年児童ともに90%以上の児童が、きまりよい生活ができていると回答している。「西部小のきまり」を児童と共に改めて見直し、児童の主体性を大切にしながら指導していきたい。

【質問9：自己表現に関わって】

児童（低・高）	自分の考え方や気持ちをはっきり伝えようとしている。			
保護者	お子さんは、自分の考え方や気持ちを伝えようとしている。			
職員	児童が、自分の考え方や気持ちをはっきり伝えられるよう行ってきた指導は、効果を上げている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	39.4%	39.7%	17.6%	6.4%
児童（高）	27.2%	44.3%	20.9%	7.6%
保護者	20.8%	61.9%	14.9%	2.4%
職員	0.0%	61.5%	38.5%	0.0%



<考察>

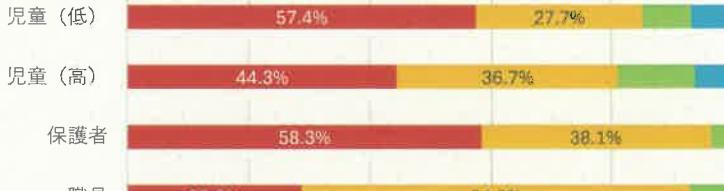
自分の気持ちや考え方を伝えることに抵抗感がある児童がいること、高学年児童の方が抵抗感を持つ児童が増えていることから、児童の発達段階に応じた多様な学習活動が必要であると思われる。多様な考え方や気持ちを発信できる、受け取ってもらえる学級・学校作りのために何ができるのか探り、実践していきたい。

【質問10：学校行事に関わって】

児童（低・高）	学校行事は 楽しく待ち遠しい。			
保護者	学校行事は、お子さんにとって充実したものになっている。			
職員	学校・学年行事は、児童にとって充実したものになっている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	57.4%	27.7%	8.0%	6.9%
児童（高）	44.3%	36.7%	12.7%	6.3%
保護者	58.3%	38.1%	4.2%	0.0%
職員	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%



<考察>

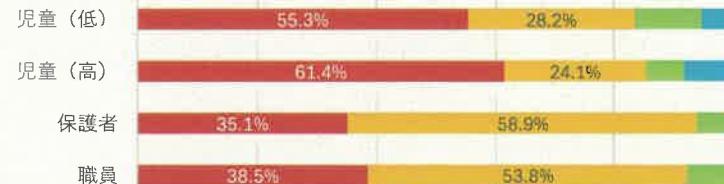
運動への意欲が高い児童もいるものの、運動したり体を動かしたりすることの少ない児童との個人差が大きい。八風山強歩登山に向けて行った自主マラソンでは、多くの子どもたちが参加して、校庭を何周もして体を鍛えていた。このように、児童にとっての目標や楽しみが体を動かす原動力になることも分かってきた。今後、保護者の方と情報共有をしながら児童が体を動かす活動を積極的に行っていきたい。

【質問11：施設・設備の安全に関わって】

児童（低・高）	学校で危険な目にあったり、危ないと思った場所はなく過ごせている。			
保護者	学校の施設や設備は安全で、整備されている。			
職員	施設や設備は十分整備され、児童が怪我をしないよう安全に気を配っている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
児童（低）	55.3%	28.2%	11.2%	5.3%
児童（高）	61.4%	24.1%	6.3%	8.2%
保護者	35.1%	58.9%	4.8%	1.2%
職員	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%



<考察>

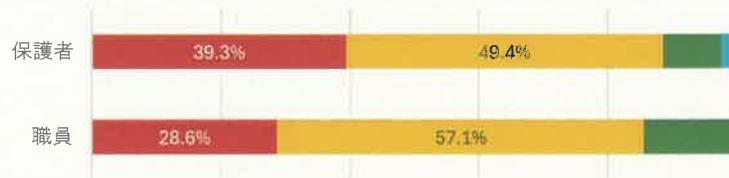
低学年児童の16%、高学年児童の14%が、校内で危険な思いをしたことがあると回答している。この結果を受け、校内それぞれの室管理責任者による危険個所の洗い出しと改善に向けた対応を行っている。また、廊下を走らないなどについてただ禁止ではなく、どうしていくべきかを伝えていきたい。今後も学校で危険な場所がないよう、継続した点検に取り組んでいきたい。

【質問12：地域に開かれた学校関わって】

保護者	学校は、地域に開かれた学校づくりに努めている。			
職員	家庭や地域との連携を密にし、開かれた学年・学級づくりに努めている。			

<集計結果>

	1	2	3	4
保護者	39.3%	49.4%	8.9%	2.4%
職員	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%



<考察>

「民生児童委員さんとの懇談」や、秋に開かれた「西部小を語る会」では、民生児童委員さん、区長さんをはじめ地域の方々や保護者の方々にお越しいただき、語り合うことができました。これからも、地域に開かれた学校づくりを目指していきたいと思います。

また、学校の様子を学校だよりやホームページでも公開しています。ホームページは以下のQRコード（URL）よりご覧ください。



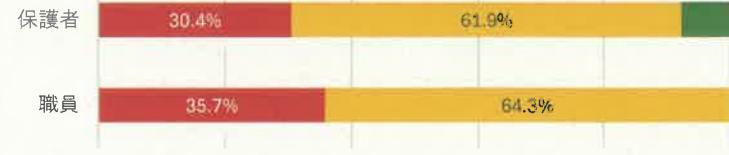
<https://www12.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=c20200066>

【質問13：PTA活動関わって】

保護者	保護者は学校の教育活動に関心が高く、諸行事等に参加している。			
職員	学級懇談会や各部会等のPTA活動が充実するように、努力している。			

<集計結果>

	1	2	3	4
保護者	30.4%	61.9%	7.7%	0.0%
職員	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%



<考察>

授業参観、運動会での準備や片付け、八風山強歩登山のボランティア、スケート教室の補助、読み聞かせ等々、様々な活動に対して多くの方にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様とつながりを深めるため、授業参観後の学級懇談会の確保をしていきたいと思います。

保護者の皆様

学校評価アンケートの自由記述では、今後も児童のよりよい成長のために必要なことをご家庭と連携して進めていってほしいとのご意見をいただいています。また、児童に対する職員のかかわり方や姿勢について改善を要するとのご意見もいただきました。定期的に行っている職員研修ばかりではなく、職員が互いに注意し合える雰囲気づくりに努め、児童がどのように受け止めるかを考えながら児童に接していきます。

様々な角度からたくさんのご意見・ご要望をいただきました。ご協力をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見・ご要望をもとに、学校教育目標「じぶんでかんがえみんなでつくる」ことのできる児童をめざし教育活動を進めています。今後とも、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。